

# LGBT等\*に関する 筑波大学の基本理念と対応ガイドライン

平成29年3月  
国立大学法人 筑波大学

\* LGBT等とは、Lesbian・Gay・Bisexual・Transgender及び他のセクシュアリティを含む総称とします。



## 目次

I . 筑波大学におけるLGBT等の性自認及び性的指向を理由とした差別の禁止及び解消に関する 基本理念	1
II . 現状での具体的対応と方針	1
1 相談について	2
① 相談窓口	2
② 相談後の流れ	2
<コラム1> ～こんなことも相談できます～	2
2 氏名・性別の情報とその管理について	3
① 氏名の変更	3
② 性別の変更	3
③ 性別情報の取扱い	3
④ 大学の発行する証書の性別記載	4
<コラム2> ～卒業・修了後の証明書発行における氏名の変更について～	4
⑤ 大学に提出する諸書類における性別情報の記入	4
<コラム3> ～マイナンバーについて～	5
3 授業について	5
① 体育実技の履修、更衣室、用具の配慮	5
② 学外実習(教育実習等)の履修	6
③ 授業におけるグループ分け	6
④ 外国語授業における呼称	6
4 学生生活について	6
① 定期健康診断	6
② 宿舎	6
③ 多目的トイレ	6
④ 入学式・卒業式の服装と身なり	7
5 就活について、その他	7
① 就職活動・インターンシップ	7
② 保健管理センター(精神科)及び学生相談等との連携	7
III . おわりに	8
IV . 巻末資料(相談窓口一覧・LGBT等の相談窓口ポスター)	9

# I.

## 筑波大学におけるLGBT等の性自認及び性的指向を理由とした差別の禁止及び解消に関する基本理念

建学の理念に「開かれた大学」を掲げ、教育・研究に多様性と柔軟性を追究する筑波大学においては、本来違いを持つ学生及び教職員がすべて尊重されることは言うまでもありません。少数者にあたるLGBT等（Lesbian・Gay・Bisexual・Transgender及び他のセクシュアリティを含む）への対応について、我が国における大学改革を先導する本学は、以下の方針により責任を持って対応します。

### 少数者を差別しません

性自認や性的指向は本学が重視する本人の能力とは無関係であり、少数者ということで差別や嫌がらせがあってはなりません。これらは本学のダイバーシティ基本理念に反するものです。

### 自己決定を尊重します

性自認や性的指向に関わる情報やその開示・非開示、またそれらの表現は、当事者の意思でコントロールされるものであり、他者から不当に侵害されることがあってはなりません。

### 修学・サービスの妨げを取り除きます

LGBT等の少数者にとって修学・サービスの妨げとなる事柄は、適切な過程による合意形成を経て、合理的な範囲で取り除かれなければなりません。

地球規模課題の解決の先頭に立つ本学において、個性と多様な能力が発揮されることは、未来地球社会に求められるイノベーションの創出という目標の出発点にあります。そのため、本学は学生、教職員を問わず全構成員を対象とした上記の基本理念を掲げ、さらに以下の具体的な対応を行います。

# II.

## 現状での具体的な対応と方針

以下は、平成29年3月時点で本学が実施している、主に学生を対象としたLGBT等の当事者を取り巻く課題への具体的な対応の内容と方針です。言うまでもなく、LGBT等の当事者の状況やニーズは多様です。前述した基本理念に沿って、さらに現状の対応を踏まえたうえで、様々な場面で起こりうる課題への個別的な対応が求められます。

また、現在は主にトランスジェンダーの学生に対する内容が主となりますが、今後は他のセクシュアリティの当事者や、学生だけではなく教職員を含めた内容についても検討し、改訂を行う予定です。本ガイドラインに関するご意見やご要望については、以下のダイバーシティ・アクセシビリティ

ティ・キャリアセンター（以下「DACセンター」という。）のダイバーシティ部門までお寄せ下さい。

お問い合わせ

ダイバーシティ部門  
ホームページ：<http://diversity.tsukuba.ac.jp/>  
電話： 029-853-8504  
メール： [diversity@un.tsukuba.ac.jp](mailto:diversity@un.tsukuba.ac.jp)

## 1 相談について

### ① 相談窓口

本学では、DACセンターのダイバーシティ部門にLGBT等に関する相談窓口を設置しています。ここでは、主に学生や家族等を対象として、本ガイドラインに示した内容を中心に相談ができます。なお、教職員の相談も可能です。現状で対応可能な内容は個別の状況や大学側の事情にもよるため、必ずしも希望に添えない場合もありますが、まずはお気軽にご相談下さい。

相談内容によっては、巻末にある他の相談窓口を紹介し、連携して対応します。もちろん、連携の範囲や内容については事前に本人と確認します。守秘義務を負った担当者が対応しますので、安心してご相談下さい。

お問い合わせ

ダイバーシティ部門  
ホームページ：<http://diversity.tsukuba.ac.jp/>  
電話： 029-853-8504  
メール： [diversity-au@un.tsukuba.ac.jp](mailto:diversity-au@un.tsukuba.ac.jp)

### ② 相談後の流れ

相談を受けた場合、本人の希望と了解に基づき、必要に応じて関係組織と対応を協議します。対応の基本的な流れは下記のとおりですが、具体的な対応については個別の状況によります。



#### <コラム1>

～こんなことも相談できます～

「カミングアウトされたけれど、どうすればよいか分からない」「困っている当事者を知っているが、自分に何が出来るか分からない」等があれば、DACセンターのダイバーシティ部門をはじめ、守秘義務のある巻末に記載した相談窓口にご相談することができます。ひとりで悩まずに是非相談窓口をご利用下さい。

## 2 氏名・性別の情報とその管理について

### ① 氏名の変更

本学では本人の申し出により、自認する性に基づく通称名を教育組織内等で使用することができます。この場合、学類や専攻等の関係組織及び組織長（学類長や専攻長等）の教員や支援室等の事務組織との話し合いが必要です。また、以下の条件を満たし、さらに個別の状況を踏まえたうえで、申立書の提出により、学籍簿に記載される氏名を、自認する性に基づく氏名とすることを認めています。詳細はDACセンターのダイバーシティ部門までご相談下さい。

- (1) 自認する性に基づく通称名を使用することにより不利益が生じた場合は、本人の責任において対応すること。
- (2) 戸籍における氏名変更の手続きを進めること。

### ② 性別の変更

氏名の変更と異なり、戸籍の性別の変更に伴う場合を除いて、学籍簿等での性別の変更は対応できません（平成29年3月時点）。ただし、次の「性別情報の取扱い」や「大学の発行する証書の性別記載」、「大学に提出する諸書類における性別情報の記入」のとおり、本学では性別情報は限られた範囲で取り扱われています。今後も、性別情報が慎重に取り扱われるよう、周知・徹底を図りながら、改善を目指します。

### ③ 性別情報の取扱い

性別情報は、特に自認する性と生物学的性（身体的性）に違和を感じる多くのトランスジェンダーの当事者にとって、アイデンティティに関わる重要な情報です。例えば、戸籍上の性別は女性であっても、それをごく限られた範囲の人にカミングアウトして男性として生活しているトランスジェンダーの当事者の場合、戸籍上の「女性」という性別情報が本人の意図しない形で外部に知られることは耐え難いことです。

本学では、当事者の意図しない形で本人の性別情報が公表されないよう、特に名簿とTWINSでの性別情報の取扱いについて、下記の点に取り組んでいます。

#### ◆ 名簿

本学では教職員に対して、学生に配布・掲示する名簿については、原則としていかなる文書についても性別欄を除外して配布・掲示するよう、全学的に周知、徹底を図っています。教員の会議等でも、性別情報を含む個人情報については慎重に取扱うことを進めていきます（例：会議資料とする際には性別情報を伏せて取り扱う等）。

#### ◆ TWINS

TWINSで性別情報にアクセスできる権限を有するのは、指導教員と組織長の教員（学類長や専

攻長等)、教務担当・学生担当の職員のみです。このうち、名簿として出力等の操作ができる権限は、教務担当・学生担当の職員のみが有しています。本学では上記の教職員に対して、性別情報を含めた個人情報の取扱いに関する研修だけでなく、LGBT等に関する研修を受けることを推進し、性別情報の慎重な取扱いを広く啓発していきます。

#### ④ 大学の発行する証書の性別記載

本学で発行する証書等（成績証明書や学位記等）のうち、主な証書等の性別記載の有無については下記のとおりです（より詳細な情報はDACセンターのダイバーシティ部門のホームページに記載しています）。今後、さらに情報を集めるとともに、各証書等で性別の記載が本当に必要かどうかを含め、検討していきます。また、各組織（支援室や学類、専攻等）においても同様の方針で対応を進めていきます。

<性別記載のないもの（平成29年3月時点）>

学位記、成績証明書、卒業（修了）見込証明書、在学証明書、在籍証明書等

<性別記載のあるもの（平成29年3月時点）>

健康診断証明書、通学証明書等

※より詳細な情報はダイバーシティ部門のホームページに掲載しています。（<http://diversity.tsukuba.ac.jp/>）

#### <コラム2>

～卒業・修了後の証明書発行における氏名の変更について～

卒業・修了・退学又は除籍した後、性別違和により氏名を変更した場合、本学で発行される証明書等に記載する氏名を変更することが可能です。性別違和による氏名の変更を行った人を対象とし、申請には「証明書交付願」のほか、原則初回の申請時には「氏名の変更が確認できる資料（戸籍事項証明書等）」と「申請にあたっての申立書」が必要となります。詳細はDACセンターのダイバーシティ部門までご相談下さい。

#### ⑤ 大学に提出する諸書類における性別情報の記入

本学に提出する諸書類（入学料・授業料免除申請書や各種使用願等）のうち、主な書類への性別情報の記入の有無については下記のとおりです（より詳細な情報はDACセンターのダイバーシティ部門のホームページに記載しています）。今後、さらに情報を集めるとともに、各書類で性別情報の記入が本当に必要かどうかを含め、検討していきます。また、各組織（支援室や学類、専攻等）においても同様の方針で対応を進めていきます。

なお、これらの提出に先立ち、事前に相談することで性別記載欄を未記入のまま提出することも可能です。詳細はダイバーシティ部門までご相談下さい。

<性別記載のないもの（平成29年3月時点）>

入学料・授業料免除申請、自転車等登録申請書、文書等掲示・配布願、学生証再交付願等

<性別記載のあるもの（平成29年3月時点）>

学生宿舍入居申込書、合宿所や研修所の利用願、学生団体設立願、学生団体構成員名簿等

※奨学金関係（日本学生支援機構奨学金等）の申請書（願書）では、申請先の様式に性別記載欄があるものがありますが、その証明書には性別記載欄はありません。

※より詳細な情報はダイバーシティ部門のホームページに掲載しています。（<http://diversity.tsukuba.ac.jp/>）

### <コラム3>

～マイナンバーについて～

学生が本学で短期雇用により雇用される場合等でマイナンバー関係の書類を提出する際、通知カードや個人番号カード等に含まれる性別欄及び臓器提供意思表示欄は、その部分をマスクのうえコピーして本学に提出することが可能です。

通知カードではなく、個人番号カードを作成するとカード入れフィルムがセットで受け取れます。カード入れフィルムの表面は性別欄及び臓器提供意思表示欄、裏面では個人番号がマスクされています。表面については性別欄及び臓器提供意思表示欄をマスクしたままコピーして提出することが可能です。

## 3 授業について

### ① 体育実技の履修、更衣室、用具の配慮

本学では体育に関する授業が多くあります。特に全学向け共通科目「体育」では、下記のような実技に関する配慮を実施しています。詳細はDACセンターのダイバーシティ部門までご相談下さい。

#### ● 履修

全学向け共通科目「体育」において男女別の要素がある科目があります。具体的には次のような科目が想定されます。これらの科目については、学生が履修時の参考となるよう、開設授業科目一覧の備考欄等に男女別要素があることを明記することを検討しています。

○専用のウェアに着替えが必要な科目

（例：水泳、柔道、剣道、ウィンドサーフィン、スノースポーツ、マリンスポーツ、ヨット）

○用具が男女別の科目

（例：シューティングスポーツの弓道、バスケットボール、剣道）

○他の学生との身体的接触がある科目

（例：柔道、空手、ダンス）

○宿泊を伴う科目

（例：キャンピング、スノースポーツ）

○その他、授業内で男女別にグループを作る必要がある科目

#### ● 更衣室

更衣室の使用について、必要に応じて個別対応を事前に相談することができます。

## ◆ 用具の配慮(例:シューティングスポーツの弓道での胸当て)

性別毎に使用を求められることのないよう、事前に相談することができます（実際に使用するかどうかはあくまでも各自にお任せします）

## ② 学外実習（教育実習等）の履修

実習受け入れ先の体制や状況により必ずしも希望に添えるとは限りませんが、教育実習を含めた学外での実習で想定されるトイレや更衣室、服装等に関して事前に相談することができます。詳細はDACセンターのダイバーシティ部門までご相談下さい。

## ③ 授業におけるグループ分け

授業におけるグループ分けにおいて、本学では性別でのグループ分けが不必要に行われることがないよう周知を図ります。特に全学向け共通科目「体育」で男女別の要素がある科目については、上述したとおり、開設授業科目一覧で事前に明記するよう検討します。

## ④ 外国語授業における呼称

本学では外国語の授業における呼称（Miss.ではなくMr.とする等）は、事前の相談により学生の要望に沿ったものとするのが可能です。その他、呼称に関する詳細はDACセンターのダイバーシティ部門までご相談下さい。

# 4 学生生活について

## ① 定期健康診断

本学で実施する定期健康診断について、必要に応じて個別対応を事前に相談することができます。詳細はDACセンターのダイバーシティ部門までご相談下さい。

## ② 宿舎

本学の宿舎の多くは男女別の棟・ユニットに分かれており、かつトイレや浴室等の設備が共用です。ただし、設備が各部屋に設けられている宿舎や、宿舎への入口は男女共用であり、階層で男女を分けている宿舎もあります。これらの宿舎の入居については、個別の状況により必ずしも希望に添えるとは限りませんが、事前に相談することが可能です。詳細はDACセンターのダイバーシティ部門までご相談下さい。

## ③ 多目的トイレ

本学には誰でも使用できる多目的トイレが設置されています。学内施設の多目的トイレの場所は、下記の大学ホームページ及びDACセンターのアクセシビリティ部門のホームページに記載されています。

○大学ホームページ → キャンパスマップ

(<http://www.tsukuba.ac.jp/campuslife/campus.html>)

○DACセンター アクセシビリティ部門ホームページ → バリアフリーマップ

(<http://www.human.tsukuba.ac.jp/shien/map/>)

## ④ 入学式・卒業式の服装と身なり

本学では、ダイバーシティ推進の観点から、入学式や卒業式において多様なアイデンティティに基づいた服装や身なりで参加することができます。式典であることを踏まえたうえで、皆さんにふさわしい服装や身なりでご参加下さい。これまでスーツや袴での参加者が多いですが、和装、民族衣装等、多様なアイデンティティに即した服装や身なりでの参加もありました。

## 5 就活について、その他

### ① 就職活動・インターンシップ

DACセンターのキャリアサポート部門と連携を図ることで、就職活動やインターンシップ時の相談にも対応しています。就活時やインターンシップ時のカミングアウトや就職後の不安をはじめ、キャリアに関わる内容についてキャリアカウンセラーとともに考えることができます。キャリアサポート部門の窓口は巻末に記載しています。

### ② 保健管理センター（精神科）及び学生相談等との連携

DACセンターのダイバーシティ部門は、同センターのキャリアサポート部門やアクセシビリティ部門のほか、保健管理センター（精神科）や学生相談等の各担当と連携体制を整えています。アクセシビリティ部門では発達障害を含め、障害のある学生への修学上の支援に関する相談ができます。保健管理センター（精神科）や学生相談ではメンタルヘルスや学生生活上の様々な悩みや問題について専門家が対応します。これらの窓口からダイバーシティ部門を紹介してもらうこともできます。各窓口の問い合わせ先は巻末に記載しています。

近年、LGBTを含むセクシュアル・マイノリティに関する話題は社会的に大きな注目を集めています。国内では渋谷区での同性パートナーシップに関する条例の制定、国外では米国での連邦最高裁判所による同性婚を憲法上の権利として認めた判断を始め、一見すると国内外でセクシュアリティの多様性を認め、ダイバーシティ推進へと動き始めているように思えます。しかし、国内でも国外でも未だ多くの誤解や偏見が残り、それによって不当な扱いを受けて起こる不幸な事例が後を絶たないことも事実です。「LGBT」という言葉だけが先行してすべてのセクシュアル・マイノリティがひとまとまりに受け止められ、性自認や性的指向の多様性まで理解が及ばない人も多くいます。当事者が周囲に声を出せず、息を潜めながら生活している姿も想像に難くありません。セクシュアル・マイノリティであるということだけで、本来のその人の能力と無関係に機会や評価が与えられないこと、能力を十分に発揮できないことは、社会にとって、とりわけ教育・研究により社会を切り拓く立場にある大学にとっては大きな損失です。

本ガイドラインの巻頭にある「筑波大学におけるLGBT等の性自認及び性的指向を理由とした差別の禁止及び解消に関する基本理念」にあるように、本学は建学の理念に「開かれた大学」を掲げ、教育・研究に多様性と柔軟性を追究してきました。また、地球規模の社会課題の解決に向けて従来型の発想を越えたイノベーションの創出を常に求め続けています。本学では、人材や環境の多様性こそがイノベーションの源泉であると考えています。すべての学生や教職員が自分のアイデンティティに誇りを持ち能力を存分に発揮できるよう、ともに大学を作り上げていくことは、激動する社会環境の中で筑波大学が変化と革新を生み続けるためには不可欠なことです。

これまで本学では女性研究者支援や障害学生支援といったダイバーシティの推進に一貫して取り組んできました。今、本学は男女という性別や障害の有無といった二元論でのダイバーシティ推進から歩を進め、多様な存在の個人が、それぞれに価値ある存在として自らの能力を開花できる真のダイバーシティの実現を目指しています。このガイドラインが、その一歩となることを願ってやみません。

筑波大学ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター長／大学執行役員  
五十嵐浩也

## IV.

## 卷末資料 相談窓口一覧

名称	場所	担当組織	対象	相談内容	担当者	予約
Consultation desk	Place	Office	Recipient	Consultation matters	Person in charge	Appointment
LGBT等の相談窓口	スチューデントプラザ 1D棟2F	DACセンター ダイバーシティ部門	学生・家族・教職員	LGBT等に関する相談	教員	必要
Desk for LGBT and other sexual minorities	1D Student Plaza 2F	Diversity Division	Students, faculty, staff and family members	Matter of LGBT and other sexual minorities	Counselor (faculty member)	Required
総合相談窓口	スチューデントプラザ 1D棟北側3F、 春日エリア7B棟215	保健管理センター・ 学生生活課	学生・家族・教職員 他、どなたでも	学生生活に関する何でも相談	カウンセラー (臨床心理士)	不要
General Consultation Service	Student Plaza, Student Office (Building 1D North 3rd Floor) Kasuga Area, Counseling Room (Building 7B, 215)	University Health Center, Division of Student Welfare	Students, faculty members, family of students and anyone	Consultation on anything about student life	Counselor (clinical psychologist)	No appointment needed.
学生相談室	保健管理センター 1F	保健管理センター・ 学生生活課	学生・保護者 教職員	学生生活のさまざまな問題や悩み ごとに関する相談(カウンセリングや コンサルテーション)	カウンセラー (臨床心理士)	必要
Student Counseling Room	University Health Center, 1Floor	University Health Center, Division of Student Welfare	Students, faculty members and family of students	Consultation on various problems and troubles about student life (Counseling and consultation)	Counselor (clinical psychologist)	Required
留学生相談室	大会館2F 留学生相談室 (CEGLOC 9P棟)	グローバル・commons機構 国際交流支援部門 相談指 導チーム	学生・家族・教職員	留学生に関連するあらゆる問題や悩み ごと(留学生の他に受け入れに関わる 教職員全般が対象)	教員、 カウンセラー	不要
International Students Consulting Room	University Auditorium Building 2F (CEGLOC Bldg. 9P)	Advisory Team, Global Commons	Students, their family members, the university staff	Any issues related to international students (open to all staff members as well as international students)	faculty members, counselors	No appointment required during open
健康相談	保健管理センター2F	保健管理センター(内科・ 整形外科・歯科)	学生・教職員	からだの健康についての 相談・応急診療	医師・看護師	不要 (対応人数の 上限あり)
Health Consultation	University Health Center 2F	Internal Medicine, Orthopedics, Dentistry	Students, faculty and staff	Health consultation, etc.	Doctor and Nurse	No appointment needed.
精神保健相談	保健管理センター 1F	保健管理センター(精神科)	学生・家族	気分の落ち込み、意欲の低下、 不安、不眠などメンタルヘルスに 関する相談・治療	精神科医師	必要
Mental Health Care	University Health Center 1F	Psychiatry	Students and family members	Matter of Mental Health	Psychiatrist	Required
障害学生支援の 相談窓口	スチューデントプラザ 1D棟2F	DACセンター アクセシビリティ部門	学生・教職員	障害のある学生への修学上の 支援に関する相談	専門スタッフ	必要
Support service for students with disabilities	1D Student Plaza 2F	Accessibility Division for Students with Disabilities	Students, faculty and staff	Study support for students with disabilities	Specialized staff	Required
キャリア・就職相談 (学生)	スチューデントプラザ 1D棟2F	DACセンター キャリアサポート部門	学生・家族	学生のキャリア・進路・就職相談	教員、キャリア カウンセラー、事 務職員	必要
Desk for career counseling (for students)	1D Student Plaza 2F	Career Support Division	Students and family members	Career counseling for students	Counselor and staff	Required
キャリア相談 (教職員)	スチューデントプラザ 1D棟2F	DACセンター ダイバーシティ部門	教職員	教職員のキャリア・進路相談 (博士課程の学生のキャリア・ 進路・就職相談も可)	教員、 カウンセラー	必要
Desk for career counseling (for faculty and staff members)	1D Student Plaza 2F	Diversity Division	Faculty and staff members	Matter of career development	Counselor	Required
相談室「あう」	スチューデントプラザ 1D棟2F	DACセンター ダイバーシティ部門	学生・家族・教職員	ワークライフバランスに関する相談 (ライフイベント等の両立支援や 職場環境に関する内容も含む)	教員、 カウンセラー	必要
Work-life balance counseling room "Au"	1D Student Plaza 2F	Diversity Division	Students, faculty, staff and family members	Matter of work-life balance and life event support services	Counselor	Required
ハラスメント 相談センター	本部棟7F	組織・職員課	学生・教職員	ハラスメントに関する相談	カウンセラー、 ハラスメント 相談員(教職員)	必要
Harassment Counseling Center	7th Floor of Administration Center	Division of Organizational and Labor Management, Department of General Affairs	Students, faculty and staff	If you observe or been the target of behavior you perceive as harassment, contact us.	Counselor and Advisor for harassment	Required

連絡先	特記事項	QRコード
Contact information	Remarks	Web
電話：029-853-8504 メール：diversity-au@un.tsukuba.ac.jp ----- Tel：029-853-8504 E-mail：diversity-au@un.tsukuba.ac.jp	受付時間は平日8:30～12:15、13:15～17:15 対応時間は1回の相談につき60分程度。日時は適宜調整（平日のみ） ----- Office hours：8:30-12:15, 13:15-17:15 (weekday)	
スチューデントプラザ 電話：029-853-8430 春日エリア電話：029-859-1207 ----- Student Plaza：029-853-8430 Kasuga Area：029-859-1207	開室日時は大学Webページ参照。匿名相談、電話相談可 スチューデントプラザ 平日9:30～12:15、13:30～17:00 春日エリア 平日9:30～12:15、13:30～16:30 ----- Schedule is available online. Anonymous consultation available. Consultation by telephone available. Student Plaza：9:30-12:15, 13:30-17:00 (weekday) Kasuga Area：9:30-12:15, 13:30-16:30 (weekday)	
受付電話：029-853-2415 電話相談：029-853-2406 ----- Reception: 029-853-2415 Consultation by telephone: 029-853-2406	受付時間は平日9:00～17:00。匿名相談、電話相談可 ----- Anonymous consultation available. Consultation by telephone available. Reception hours: 9:00-17:00 (weekday)	
電話：029-853-6240、6766 メール：gc-support@un.tsukuba.ac.jp ----- Tel: 029-853-6240, 6766 E-mail: gc-support@un.tsukuba.ac.jp	対応時間は平日月曜日14:00～17:00、火曜日10:00～13:00、 水曜日14:00～17:00、木曜日10:00～12:00・13:00～17:00、 金曜日15:00～18:00 ※日本語及び英語対応 ----- Open hours：Mon. 14:00-17:00, Tue. 10:00-13:00, Wed. 14:00-17:00, Thu. 10:00-12:00 & 13:00-17:00, Fri. 15:00-18:00 *Consultation in Japanese and English	
電話：029-853-2410 ----- Tel: 029-853-2410	対応時間内科 月～金9:00～11:40、月・水・金13:30～15:00 整形外科 月・火13:30～15:00、水・木9:00～11:40 歯科 月・水・金9:00～11:40 ----- Reception hours: Internal Medicine; 9:00-11:40 (weekday), 13:30-15:00 (Mon., Wed., Fri.) Orthopedics; 13:30-15:00 (Mon., Tue.), 9:00-11:40 (Wed., Thu.) Dentistry; 9:00-11:40 (Mon., Wed., Fri.)	
受付電話：029-853-2415 電話相談：029-853-2406 ----- Tel：029-853-2415 Telephone counseling：029-853-2406	受付時間は平日9:00～17:00 ----- Reception hours: 9:30-12:00, 13:30-16:00 (weekday)	
電話：029-853-4584 メール：shougai-shien@un.tsukuba.ac.jp ----- Tel: 029-853-4584 E-mail: shougai-shien@un.tsukuba.ac.jp	受付時間は平日8:30～12:15、13:15～17:15 ----- Office hours: 8:30-12:15, 13:15-17:15 (weekday)	
電話：029-853-8444 メール：syushokuka@un.tsukuba.ac.jp ----- Tel: 029-853-8444 E-mail: syushokuka@un.tsukuba.ac.jp	受付時間は平日8:30～12:15、13:15～17:15 相談時間は平日①9:40～②11:00～③13:30～④14:45～⑤16:00～ ----- Office hours: 8:30-12:15, 13:15-17:15 (weekday) Consultation hours: ①9:40～②11:00～③13:30～④14:45～⑤16:00～ (weekday)	
電話：029-853-8504 メール：career-shien@un.tsukuba.ac.jp ----- Tel：029-853-8504 E-mail：career-shien@un.tsukuba.ac.jp	受付時間は平日8:30～12:15、13:15～17:15 対応時間は1回の相談につき60分程度。日時は適宜調整（平日のみ） ----- Office hours: 8:30-12:15, 13:15-17:15 (weekday)	
電話：029-853-8504 メール：diversity-au@un.tsukuba.ac.jp ----- Tel：029-853-8504 E-mail：diversity-au@un.tsukuba.ac.jp	受付時間は平日8:30～12:15、13:15～17:15 対応時間は1回の相談につき60分程度。日時は適宜調整（平日のみ） ----- Office hours: 8:30-12:15, 13:15-17:15 (weekday)	
電話：029-853-8449 メール：stop-harassment@un.tsukuba.ac.jp ----- Tel: 029-853-8449 E-mail: stop-harassment@un.tsukuba.ac.jp or for more information visit university homepage.	対応時間は平日8:30～17:15（事前予約の場合対応時間の調整可） メール予約は随時受付可※ハラスメント相談員を利用する際は、下記の〔学内 ホームページ〕にある相談員一覧より相談員を選び、相談受付の曜日や時間を 確認の上、各人に連絡をとってください 〔学内ホームページ〕（学内よりアクセスして下さい） 在学生 本学ホームページ>在学生の方へ>福利厚生・心や体の健康相談>ハラスメント関連 教職員 本学ホームページ>教職員専用>組織運営>ハラスメント防止	

\* セクシュアル・マイノリティとは、LGB（レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル）や、T（トランスジェンダー）および性別に違和をもつ人を含め、多様なセクシュアリティの人を指しています。

## セクシュアル・マイノリティ\*に関する 筑波大学での学生生活について 相談できます

筑波大学では、平成27年度よりセクシュアル・マイノリティの学生に対して、これまでの個別対応から、大学として支援の取り組みを始めました。

とくにトランスジェンダーや性別に違和を持つ学生には、次のような点についてこれまでも対応しています。

- 氏名の取扱い
- 名簿等における性別の取扱い
- 使用トイレ
- 健康診断
- 教育実習やインターンシップ
- キャリア相談、就職相談 など

もし何か困ったことや伝えたいことがあれば、下記のダイバーシティ部門の窓口まで相談に来て下さい（電話かメールでの事前受付をしています）

対応可能な内容は個別の状況や大学側の事情にもよるため、必ずしも希望に沿えない場合もありますが、まずはお気軽にご相談下さい。



筑波大学ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター **ダイバーシティ部門**

TEL: 029-853-8504 E-mail: [diversity-au@un.tsukuba.ac.jp](mailto:diversity-au@un.tsukuba.ac.jp)

URL: <http://diversity.tsukuba.ac.jp/> または「筑波大学ダイバーシティ」で検索

本ガイドラインに関してご不明な点や、ご要望、ご意見等がありましたら、ダイバーシティ部門までお問い合わせ下さい。



ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター ダイバーシティ部門

〒305-8577 茨城県つくば市天王台1-1-1 スチューデントプラザ2階

電話： 029-853-8504 メールアドレス： [diversity@un.tsukuba.ac.jp](mailto:diversity@un.tsukuba.ac.jp)

ホームページ： <http://diversity.tsukuba.ac.jp/>



筑波大学  
*University of Tsukuba*